

第4節 同志国との訓練・演習など

自国の平和を維持するためには、抑止力・対処力を強化するのみならず、自国を取り巻く安全保障環境の安定化が不可欠である。そのため、防衛省・自衛隊は、自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) の実現に向けた取組として、広くインド太平洋地域において同盟国・同志国などとの共同訓練を積極的に推進している。特に、わが国の安全保障と密接な関係を有するインド太平洋地域にお

いて、パートナーシップを強化するとともに、共同訓練などといった共通の努力を同盟国・同志国などで行い、各国の能力・練度の維持・向上および共同・連携による抑止力・対処力の強化により、相乗効果を発揮することで、力による一方的な現状変更やその試みを許さない安全保障環境の創出を図っている。

1 同志国との二国間共同訓練

1 陸上自衛隊

(1) 日仏共同訓練 (実動訓練) 「ブリュネ・タカモリ24」

陸自は、2024年9月、国内では陸軍種初となる、フランスとの共同訓練を行った。本訓練では、戦闘射撃や総合的な実動訓練を行い、対ゲリラ・コマンドウ作戦にかかる作戦遂行能力および戦術技量の向上を図るとともに、フランス陸軍との相互理解・信頼関係を促進した。

(2) 日英共同訓練 (実動訓練) 「ヴィジラント・アイルズ24」

陸自は、2025年1月、国内において英陸軍との共同訓練を行った。本訓練では、ヘリボン訓練、潜入・偵察訓練、衛生訓練など島嶼防衛にかかる実動訓練を行い、作戦遂行能力、戦術技量の向上を図るとともに、英陸軍との相互理解・信頼関係を促進した。

(3) 日印共同訓練 (実動訓練) 「ダルマ・ガーディアン24」

陸自は、2025年2月から3月にかけて、国内においてインド陸軍との共同訓練を行った。本訓練では、対テロ戦にかかる作戦遂行能力および戦術技量の向上を図るとともに、インド陸軍との相互理解・信頼関係を促進した。

2 海上自衛隊

海自は、艦艇、航空機による寄港・寄航の機会などを利用し、各国との二国間共同訓練および親善訓練¹²を行うほか、豪海軍と「日豪トライデント」、インド海軍と「JIMEX」、フランス海軍と「オグリ・ヴェルニー」、カナダ海軍と「KAEDEX」などの二国間共同訓練を継続的にを行っている。なお、2024年6月に行ったインド海軍との「JIMEX2024」では、海自潜水艦を使用した対潜戦訓練を行うなど、海自とインド海軍との相互運用性の向上を図った。

3 航空自衛隊

(1) 日比HA/DR共同訓練「ドウシン・バヤニハン4-24」

空自は、2024年10月、フィリピンで行われた日比HA/DR共同訓練「ドウシン・バヤニハン4-24」に参加した。本訓練は、HA/DRに関する能力向上、フィリピン空軍との連携強化を目的としたものであり、物料投下訓練、大量傷病者救護訓練などを行い、フィリピン空軍との連携強化を図った。

(2) 日伊共同訓練「ライジング・サン24」

空自は、2024年8月、国内においてイタリア空軍と



動画：令和6年度英陸軍との実動訓練 (ヴィジラント・アイルズ24)
URL：https://www.youtube.com/watch?v=cDt9aV48mgc

12 2024年度は、インドネシア、タイ、ブルネイ、セーシェル、スリランカ、マーシャル、南アフリカ、シンガポール、イギリス、カタール、韓国などを行った。

の共同訓練を行った。本訓練では、イタリア空軍のF-35A戦闘機、ユーロファイター戦闘機およびKC-767空中給油機などと共同訓練を行い、日伊空軍種間の相互理解の促進、防衛協力のさらなる深化に加えて、空自の戦術技量の向上を図った。



大量傷病者救護訓練に参加する日フィリピンの隊員（2024年10月）

2 同志国などとの多国間訓練

1 陸上自衛隊

(1) 米国インドネシア主催多国間共同訓練（実動訓練）「スーパー・ガルーダ・シールド24」

陸自は、2024年8月から9月にかけて、米・インドネシア陸軍主催、オーストラリア、英国、シンガポール参加による多国間共同訓練に参加した。本訓練では、空挺作戦および水陸両用作戦を共同で演練した。また、戦闘射撃訓練では、共同による攻撃戦闘を実射・実爆で演練するなど、島嶼奪回に関する作戦遂行能力や参加国との連携を強化した。



「カーン・クエスト24」における文民保護訓練（2024年8月）

(2) 米国モンゴル主催多国間訓練「カーン・クエスト24」

陸自は、2024年7月から8月にかけて、モンゴル・米国主催の多国間訓練に参加した。本訓練は、国連PKO Peacekeeping Operations にかかる能力向上を目的とした世界最大級の多国間訓練であり、陸自は2015年以降、モンゴルに部隊を派遣している。「カーン・クエスト24」では、指揮所訓練や車列警護、国連指定施設警護などの実動訓練に参加し、PKOなどへの派遣に資する各種能力の維持・向上、ノウハウの獲得・蓄積および参加各国との相互理解の促進・信頼関係を強化した。

2 海上自衛隊

(1) 令和6年度インド太平洋方面派遣「IPD24」

海自は、2024年5月から12月の6か月以上にわたり、輸送艦1隻、護衛艦5隻、潜水艦数隻を含む水上・潜水艦の各部隊を派遣し、インド太平洋地域において航行する間、10か国、14寄港地を訪問し、23件の共同訓練・3件の親善訓練を行った。

IPD部隊の一部は、多国間共同訓練「リムパック2024」に参加し、ハワイ諸島などの周辺海空域においてミサイル射撃訓練やHA/DR訓練などを行った。また、



動画：スーパー・ガルーダ・シールド24（陸上自衛隊）

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=PqCKKjBDfg0>

インド海軍と「JIMEX2024」、米・豪・韓・カナダ海軍と日米豪韓加共同訓練「パシフィック・ヴァンガード24」を行ったほか、豪海軍主催多国間共同訓練「KAKADU24」、日米印豪共同訓練「マラバル2024」といった豪海軍が主催する共同訓練に参加した。

太平洋島嶼国では、2024年5月、ポリネシア駐留仏軍主催HA/DR多国間訓練「MARARA 24」に海自艦艇が初参加し、島嶼における人道支援・災害救援活動に関する多国間指揮所訓練および実動訓練を行い、国際緊急援助活動における能力の向上を図るとともに、同年7月にはトンガ国際観艦式に参加し、参加国との相互理解の増進および友好親善を図った。

(2) インド太平洋・中東方面派遣「IMED25」

海自は、2025年1月から5月にかけて、インド太平洋・中東方面に掃海母艦などを派遣し、ペルシャ湾（バーレーン王国および同周辺海域）で行われた米国主催国際海上訓練（IMX/CE25）に参加し、主催の米国をはじめ、参加国海軍（英国、アラブ首長国連邦（UAE）、オマーン、サウジアラビア、バーレーンなど）と連携強化を図った。また、派遣に際し、インド、カンボジアなどに寄港し、これらの国を含む各国海軍などとの親善訓練などを通じて、同地域の安定と繁栄に深くコミットしていくというわが国の意思を示した。



「パシフィック・ヴァンガード24」に参加する護衛艦「ありあけ」
(2024年9月)

(3) 米国主催多国間ミサイル警戒演習「パシフィック・ドラゴン24」

海自は、2024年7月から8月にかけて、ハワイ周辺海域で行われた「パシフィック・ドラゴン24」に参加した。本訓練は、米軍が主催する多国間訓練であり、同年は日米豪韓を含む7か国が参加した。本訓練では、多国間により弾道ミサイル対処訓練、対空戦訓練を行い、戦術技量の向上および参加国との相互理解の増進ならびに信頼関係の強化を図った。

3 航空自衛隊

(1) 米国主催搜索救助演習「パシフィック・エンジェル24-1」

空自は、2024年8月、米空軍およびパプアニューギニア国防軍が主催した搜索救助演習「パシフィック・エンジェル24-1」に初めて参加した。本訓練は、搜索救助に関する米軍などとの相互運用能力、参加国空軍との連携強化を目的としたものであり、指揮所活動訓練や専門家交流に参加し米空軍との相互運用性および参加国空軍との連携強化を図った。

(2) 米空軍主催HA/DR共同訓練「クリスマス・ドロップ」

空自は、2024年12月、ミクロネシア連邦などにおいて米空軍が行う「クリスマス・ドロップ」に参加した。空自からはC-130H輸送機が参加し、日用品などの寄付物資を用いて海上への物料投下訓練を行い、空自のHA/DR能力の向上や参加各国との連携強化を図った。

(3) 豪空軍演習「ピッチ・ブラック24」

空自は、2024年7月から8月にかけて、ダーウィン空軍基地（オーストラリア）において、主催の豪空軍のほか、米空軍をはじめとする多数の参加国空軍などとの共同訓練を行った。本訓練では、E-767早期警戒機をオーストラリアへ初展開させたほか、F-2戦闘機による爆撃訓練を同国にて初めて行った。また、宇宙分野を担当する隊員もオブザーバー参加した。加えて、内倉空幕



動画：RIMPAC2024

URL：<https://m.youtube.com/watch?v=pnJV8WqTj9A&list=PL6FF52226D69C6957F&index=5&pp=iAQB>

長が訓練を視察するとともに、日米豪3か国空軍種間の訓練の協力に関する文書の署名を行った。

(4) 欧州各国空軍などとの共同訓練

空自は、2024年7月、国内においてフランス航空宇宙軍、ドイツ空軍およびスペイン空軍と共同訓練を行った。本訓練では、それぞれの空軍戦闘機などとの二国間または三国間での共同訓練を通じ、相互理解の促進、防衛協力のさらなる深化に加えて、空自の戦術技量の向上を図った。また、スペイン航空宇宙軍戦闘機の日本への寄航は初であり、日スペイン空軍種間の相互理解の促進を図った。

参照 図表Ⅲ-3-4 (同志国などとの二国間・多国間による主要訓練)、資料59 (多国間共同訓練の参加など (2021年度以降))



日仏共同訓練 (2024年7月)

図表Ⅲ-3-4 同志国などとの二国間・多国間による主要訓練



VOICE

スーパー・ガルーダ・シールド (SGS) 24へ参加して

第1空挺団 習志野 降下長 2等陸曹 鳥海 洸史 ちょうかい ひろし

私は、2024年9月に実施された米軍とインドネシア軍主催の多国間共同訓練「スーパー・ガルーダ・シールド24」において、共同空挺降下の降下長として参加しました。私は、安全・確実に隊員を降下させるという降下長の重責を感じつつ、降下員を統制した後、私自身も降下しました。眼下に広がるスマトラ島の地平、空を舞う仲間の落下傘は、私に平和と独立を守る自衛



インドネシア、バトゥラジャ降下場の降下景況



航空機からの跳び出しの景況

官としての誉れを思い起こさせました。また、国内とは全く違う環境において、他国軍との調整の難しさを感じつつも、様々な方の助けを得て降下長の任務を完遂できたことは、私にとって大きな自信となりました。本訓練の参加を誇りとし、引き続き、職務遂行に努めてまいります。

VOICE

豪空軍演習「ピッチ・ブラック24」に参加して

第8航空団 築城 装備隊員 空士長 是枝 菜実来 これえだ なみき

私は、2024年7月12日から同年8月2日までの間、豪空軍演習「ピッチ・ブラック24」に、F-2戦闘機訓練隊における航空機整備要員として参加しました。

1か月の訓練期間中は、DAP-Dという宿泊施設で他国の軍人の方と衣食住を共にし、交流を深めることができました。その中で、ワッペンを交換する機会も多く、他国の軍人の気さくな性格にも触れることができました。また、女性軍人が集まるフォーラムに参加し、シンガポールの女性軍人から発言があった「女性ということを理由に諦めず、目標に向かって努力を続けることで、常識を変えることができる。」という言葉に感銘を受け、私自身も自分のやりたいことに挑戦し続けようと思いました。

最後に、他国空軍の多種多様な航空機を実際に見ることができ、それぞれの特徴や高い技術力を知ること

ができました。私もF-2戦闘機の整備員であることに誇りを持ち、技術や知識を深めるため努力を続けていきます。



演習間に実施された女性フォーラムに参加者の集合写真 (筆者は前から3列目右から2人目)

第Ⅲ部

第3章

同志国などとの連携